

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	精神保健	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-03		氏名	有吉隆之
			電話	64-1819	
			このシート作成に要した時間	1.0 時間	

この施策の アピール ポイント	精神障害者の集いの場としての地域交流サロンを設置し、また、継続的な治療のため通院医療費を給付している。
-----------------------	---

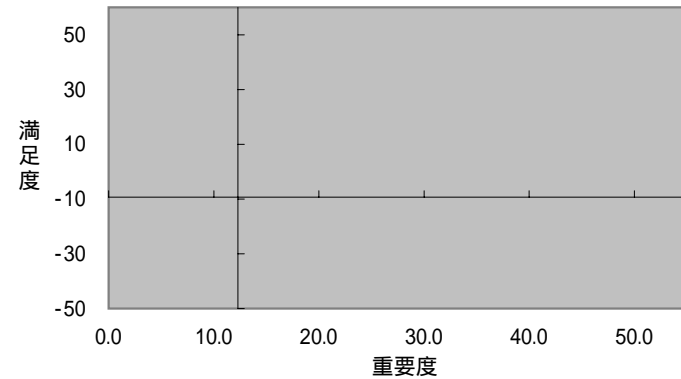
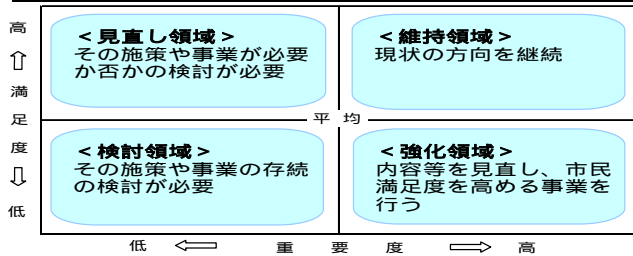
この施策の 平成23年度の 施政方針	現代社会に暮らす人々の心は社会生活の変化や複雑化に伴い、その健康が損なわれやすい状態になっており、障害を持つ人が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう支援することの重要性は増しております。このため、気軽に集える場としての地域交流サロンの充実や家族会への支援に加え、定例的な相談日を設けるとともに、訪問・面接などで相談事業の充実を引き続き図ってまいります。
--------------------------	--

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	やさしさあふれるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	精神障害者が適正な治療を継続し、地域で暮らせるとともに社会との交流を促進する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	社会環境や人間関係の変化・複雑化により心の健康が損なわれ易い状況にある。こうした状況の中で、精神障害者の人権に配慮し、自立に向けての支援や社会との交流促進を図るため、施策を推進していく。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識の普及啓発</li> <li>相談窓口の充実</li> <li>社会復帰の促進</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)				
満足度(%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	障害者自立支援法の施行に伴い、地域生活支援事業が市町村実施となっている。地域の障害者等の福祉に関する各般の問題に対し、精神障害者の保護者会も施策の拡充を強く要望している。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
成果指標 通院医療費支給率	目標	%	100.0	100.0	100.0	精神疾病患者通院医療費受給実人数/対象実人数	H24	100.0
	実績	%	91.3	91.5	91.7		H28	100.0
	達成率	%	91.3	91.5	91.7		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 地域交流サロン利用人数(延べ人数)	目標	人	1,000	1,000	1,000	延べ利用人数/目標利用者数	H24	1,000
	実績	人	867	898	1,017		H28	1,000
	達成率	%	86.7	89.8	101.7		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H24	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H24	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
保健課 保険医療係	心の健康相談	精神科医師による相談
社会福祉課	精神障害者の相談	精神障害者相談員による相談

施策の評価

項 目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	本施策に関する指標としては、なかなか妥当なものが見当たらないが、少しでも多くの対象者に通院医療費を支給することを目標に、指標を設定している。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	4	継続的治療環境と社会復帰の機会提供の両面から精神障害者支援を実施している。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	精神障害者のいる国保世帯は低所得の世帯が多いが、通院医療費の給付により治療を継続できている。	
進行年度(H24年度)の取組内容 (課題解決状況)		地域交流サロンでの利用者の自立に向けた活動を支援するとともに関係機関との連携などによりサロン活動をPRし、周知する。	
翌年度(H25年度)の取組目標		地域交流サロンでの利用者の自立に向けた活動を支援するとともに関係機関との連携などによりサロン活動をPRし、周知する。	
二次評価者コメント		保健師の訪問、相談支援活動を核に関係機関と連携をとりながら、精神障害者が地域で安心して生活がおくれるよう支援してください。	基本施策への貢献度 <b>4 やや高い</b>

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 精神保健事業	精神保健事業	単市	1,269	5,510	0.86	1,317	5,050	0.77	1,339	4,881	0.68	1,573	-
	精神疾病患者通院医療費給付事業	単市	4,027	1,781	0.29	4,644	1,181	0.22	5,272	1,449	0.26	6,394	
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			5,296	7,291	1.15	5,961	6,231	0.99	6,611	6,330	0.94	7,967	